

平成28年 6月 6日
松山河川国道事務所防災課

災害支援活動のさらなるスキルアップを目指して！

～暗い中でも安全確実に復旧支援活動が行える人材の育成～

昨年の関東豪雨災害での出動経験を踏まえ、四国管内では初となる夜間での「災害対策用機械類及び情報通信システムの操作訓練」を実施します。

災害復旧支援を担う人材育成を目的に、夜間でも安全確実な支援を行うべく、実際の出動に即した環境での訓練により、さらなるスキルアップを目指します。

・実施年月日

平成28年6月10日（金） 17：45～21：00

・実施場所

松山市井門町地先〔重信川右岸8k000河川敷・松山自動車道高架橋下付近〕
〈資料－1〉操作訓練実施場所の位置図・拡大図・駐車場所を参照ください。

・訓練対象者

愛媛県内各自治体職員、関連土木業者及び国土交通省職員（約60名）

・訓練対象機械類及び情報通信システム

- | | |
|--------------------|------------------------|
| ① 対策本部車（拡幅型） | ⑤ 衛星通信車（Ku-SAT II） |
| ② 待機支援車（バス型・ベッド数4） | ⑥ 可搬型衛星通信装置（Ku-SAT II） |
| ③ 標識車（LED昇降式） | 〔各車両の搭載機器の操作も含まます〕 |
| ④ 照明車（2kW×6灯） | |

昨年度の訓練状況は〈資料－2〉訓練実施状況写真を、また、訓練対象の各機械の概要及び目的は〈資料－3〉災害対策用機械概要を参照ください。

・その他

当日は上記の時間帯に取材可能です。直接現地へお越しください。

小雨決行。ただし、大雨・大地震等の場合は順延予定です。

※ 災害対策用機械の詳細については下記ホームページをご覧ください。
<http://www.skr.mlit.go.jp/yongi/duties/center/center-f.html>

※本施策は、四国圏広域地方計画の広域プロジェクト「No.1 南海トラフ地震を始めとする大規模自然災害等への『支国』防災力向上プロジェクト」に該当します。

問い合わせ先： 四国地方整備局松山河川国道事務所

事業対策官： 岩佐 隆（内線：208）

◎ 防災課長： 岡崎 繁則（内線：281）

代表 089-972-0034

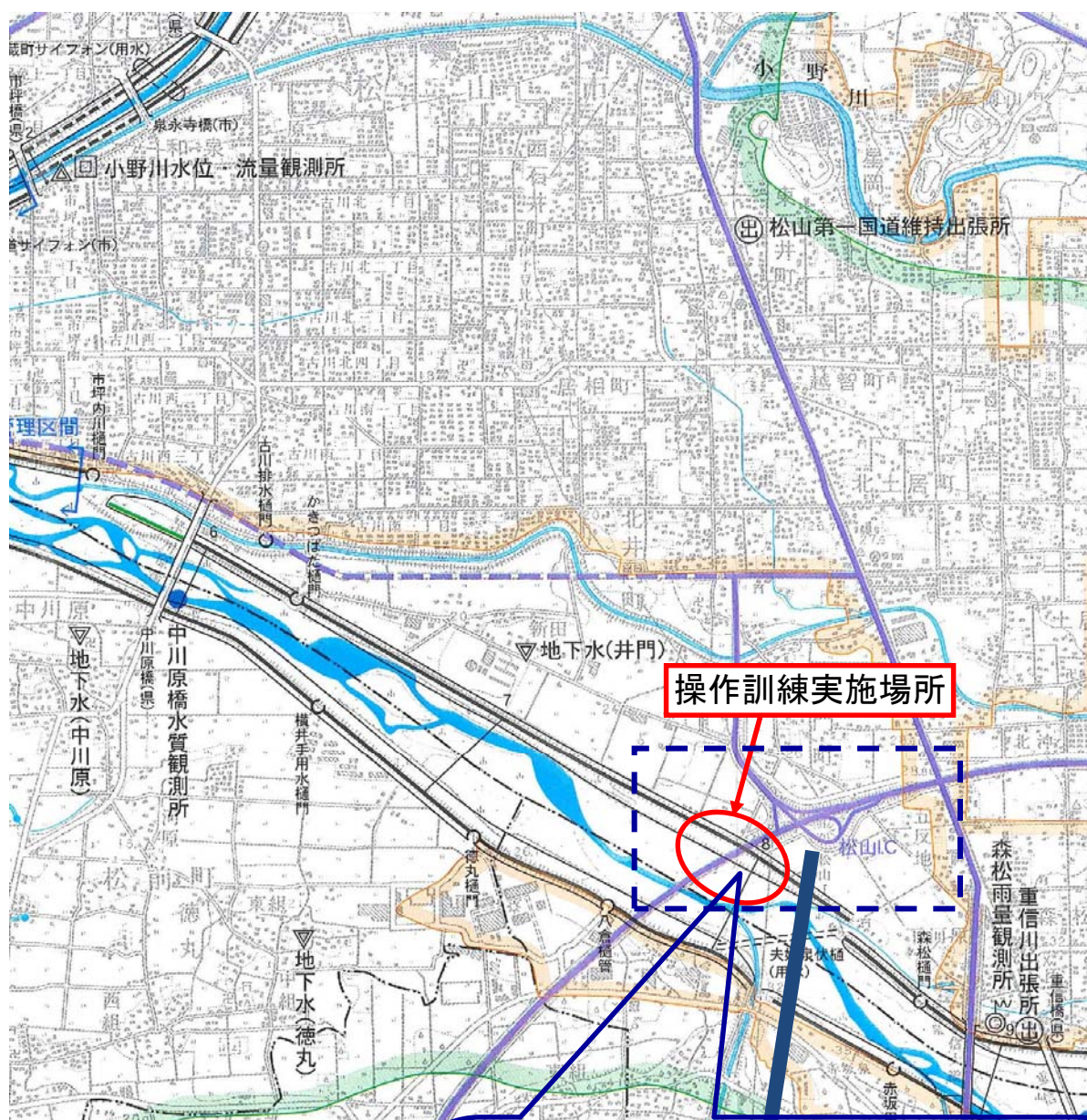
直通 089-972-7289

FAX 089-972-0004

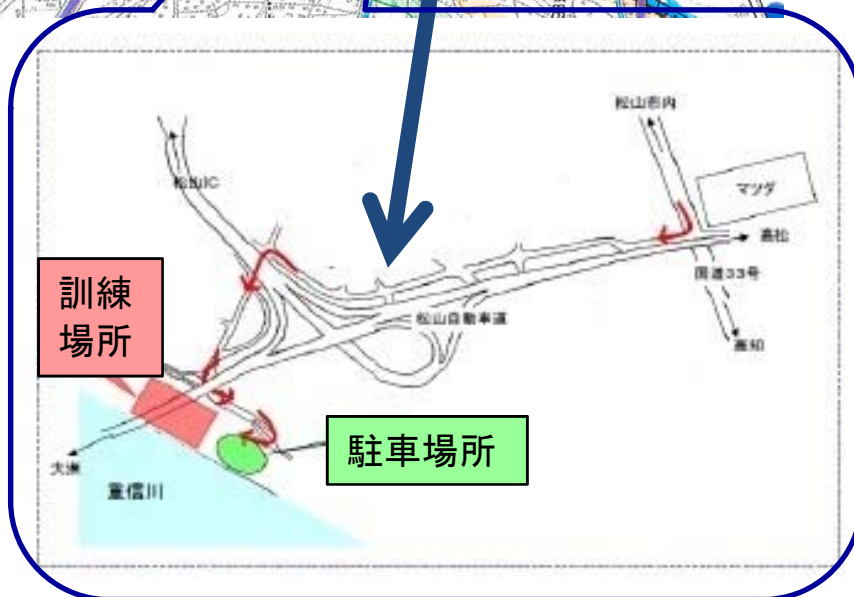
◎：主な問い合わせ先

操作訓練実施場所

〈資料-1〉



この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分の1地形図を複製したものである。
(承認番号 平24四複、第68号)





対策本部車訓練実施状況

衛星通信車訓練実施状況



昨年度の訓練状況（会場全景）

対策本部車



対策本部車 (拡幅型)

機械概要 トラック車体を両サイドに拡幅可能なように、改造した車両

使用目的 災害時における現地の対策本部、指揮、情報連絡広報活動の拠点

拡幅型

■車体を両サイドに拡幅することで現地での対策本部としてのスペースを提供

装備品 会議机、椅子、TV、トイレ、簡易ベッド(2~8名分座席兼用) 通信設備等

四技 松山 土佐

待機支援車



待機支援車 (バス型ベッド数4)

機械概要 トラック貨物室または、マイクロバス内部を人が待機・休憩できるように改造した車両

使用目的 災害現場での待機、休息、打合せ等

**バス型
ベッド数4**

■マイクロバスを改造した車両

装備品 TV、トイレ、簡易ベッド(4名分座席兼用)、通信設備等

徳島 那賀川 四技 松山 土佐×2

**トラック型
ベッド数8**

■トラック車体を改造した車両

装備品 TV、簡易ベッド(8名分座席兼用)、通信設備等

大洲 中村

標識車



標識車 (LED昇降式)

機械概要 車体後部に大型LED表示板を搭載した車両

使用目的 災害時や現道工事での一般通行車両の誘導、情報提供、広報活動等

**標識車
自走式
LED昇降式**

■運転席の操作盤より、表示内容を容易に変更可能

■事務所からの遠隔操作でも表示内容を変更可能

徳島 香川 松山 土佐

今年度から新型車になりました。

衛星通信車 (Ku-SAT II)



衛星通信車 (Ku-SAT II)

機械概要 静止衛星を利用して、営造などを送受信できる装置を搭載した車両

使用目的 災害現場の状況を、映像・電話・データ通信により災害対策本部に伝える。

**衛星通信車
(Ku-SAT II)**

■車両に搭載している発電機により、災害現場の長期間監視が可能

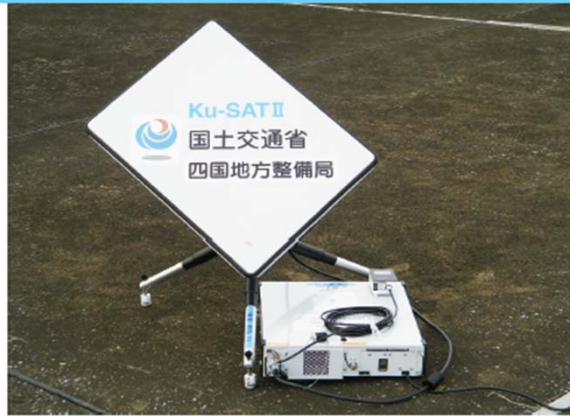
■静止衛星を利用して、災害対策本部との間で通話・データの送受信が可能

■テレビカメラ、ヘリコプターからの映像、音声を災害対策本部へ送信可能

徳島 松山 中村 土佐 四技

可搬型衛星通信装置

(Ku-SAT II)



可搬型衛星通信装置 (Ku-SAT II)

機械概要

静止衛星を利用して、映像等を送受信できる可搬型の装置

使用目的

災害現場の状況を、映像・電話・データ通信により災害対策本部に伝える。

可搬型衛星通信装置 (Ku-SAT II)

- ライトバン等に積み込み、人力で災害現場に持ち込み設置する。(小型・軽量)
- 静止衛星を利用して、災害対策本部との間で通話・データの送受信が可能
- 小型カメラの映像・音声を災害対策本部へ送信可能

徳島 那賀川 松山 大洲 高知
中村 統管 香川

照明車



照明車 (2kW×6灯)

機械概要

トラックベースに照明装置と発動発電機を搭載した車両

使用目的

災害現場での夜間照明確保

2kW×4灯

- 照射高は最大10.1m
- 4灯中2灯は180°反転可能

高知 中村

2kW×6灯

- 照射高は最大20.3m
- CCTVカメラによる映像撮影が可能

徳島×6 那賀川×2 高知×2 香川×2
松山×3 大洲×3
土佐×3 中村×3 高知×2

バックホウ・簡易遠隔操縦装置



工場での分解

空輸

災害現場で組立

機械概要

バックホウを遠隔操縦する機械

使用目的

2次災害の恐れのある災害箇所(土砂崩れ、岩盤崩落)での復旧作業

バックホウ (遠隔操縦式)

- バックホウ自体を遠隔操縦可能にしたタイプ
- 通常のバックホウと同じく、搭乗しての操縦も可能
- バケット容量: ①山積み0.45m³ ②山積み1.00m³
- 遠隔操作可能距離は150m以上
- ②はブロック毎に分割可能で、災害現場への空輸が可能

※この機械は現在熊本地震で出動中のため、当日は訓練対象から外れる場合があります。

今年度から新型車になりました。

※松山第一国道維持出張所の配備車両のみ

災害対策用機械配備参考図



災害対策用機械事務所別配置表

平成28年3月31日現在

災害対策用機械名	規 格		配 置 事 務 所											
			徳島	那賀川	香川	松山	大洲	高知	中村	土佐	統管	四技	計	
排水ポンプ車	一般型	30m ³ /min 軽量水中ポンプ	3	1	2	2	3	3	2			1	17	
	[揚程10m型]	60m ³ /min 水中ポンプ	1										1	
		150m ³ /min 水中ポンプ	1	1			1	1	1				5	
	高揚程型 [揚程20m型]	30(15)㎡/min 軽量水中ポンプ		1			2	2	1			1	7	
		60(30)㎡/min 軽量水中ポンプ	2						1				3	
照明車	2kW×4灯	10.1m						1	1				2	
	2kW×6灯	20.3m	6	2	2	3	3	2	3	3		2	26	
衛星通信車 (Ku-SATⅡ)	トラック型		1			1			1	1		1	5	
対策本部車	拡幅型					1				1		1	3	
待機支援車	バス型	ベッド数4	1	1		1				2		1	6	
	トラック型	ベッド数8					1		1				2	
標識車	LED昇降式			1	1					1			4	
橋梁点検車	バケット式											2	2	
土のう造成機	自走式								1			1	2	
簡易遠隔操縦装置	バックホウ用								1				1	
バックホウ	後方超小旋回型	遠隔操縦式										1	1	
	分解組立型	遠隔操縦式										1	1	
小型クローラクレーン	自立分解仕様											1	1	
	分解仕様											1	1	
応急組立橋	トラス1車線	30m				1				1			2	
	トラス1車線	40m	1										1	
	トラス2車線	40m			1								1	
	トラス2車線	50m							1	1			2	
可搬型衛星通信装置 (Ku-SATⅡ)		1	1	1	1	1	1	1		1			8	
ヘリコプター	8人乗り												1	
合 計 台 数														105台

愛媛県内保有機械